

### <白金標準、酒田五法で示す「宵の明星」か>



(出所：オアシス)

新甫6月限は5950円で発会すると一時6319円まで高値を試しながら、週末には5866円まで下落している。特に南アフリカのプラチナ鉱山におけるコスト計算がPGMのバスケット価格の計算でコスト割れから生産減少が続き、3年連続の供給不足懸念が強まり、価格の見直し相場が加速し、関税に伴いリースレートの高騰で品不足が意識されたとスポット価格（現物）がNY白金（先物）価格を上回る動きを見せていた。しかしNY白金の中心限月が移行し、現物価格を先物価格を上回る動きへ戻ると、NY白金は1440.5ドルで2日間高値が止まり1338.2ドルまで急落するなど、目先ピークを打った可能性は強まったと思われる。特に中東における地政学的なリスクが低下したが、トランプ大統領は相互関税の7月9日の期限を延長する考えを否定し、カナダとの全ての貿易協定を直ちに打ち切ると発言するなど関税問題が再燃している。そのため白金標準先物は6319円まで高値を試すも翌日には5866円まで下値を模索するなど、日米ともに目先はピークアウトに近い値動きを見せており、戻り売りの基調へ移行した可能性は高まると思われる。

#### <テクニカル>

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げだし、シグナルは上昇している。またRCIでは短期が下げだし、長期は90%以上を維持している。特に10日移動平均線と40日移動平均線の乖離が拡大しており、行き過ぎの雰囲気を感じる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,790,000 円(2025 年 6 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 79,200 円(2025 年 6 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>